

令和 5 年度事業報告書

新型コロナウイルスによる行動制限がなくなり全国的に交流が活発となってまいりました。

4月の「湯かけまつり」は若干の短縮でヤホールからの出発となりましたが、天候にも恵まれ多くのお客様にお出でいただくことができました。又、弥彦燈籠まつりは御神輿渡御・大燈籠巡行はおもてなし広場前での折り返しとなり 前夜祭・花火大会も若干の縮小は有りましたが、開催することが出来多くのお客様に楽しんで頂きました。

燕市との連携事業におきましては「燕と弥彦 ぐるぐる MAP」を見直し、関越自動車道サービスエリア等にパンフレットとともに掲示いたしました。又、首都圏・関西圏・名古屋での商談会に燕・弥彦広域観光連携会議として参加しPRいたしました。新潟市西蒲区との連携では 昨年に続き 土・日・祝祭日に西蒲エリアを廻る「にしかん観光周遊ぐる～んバス」を運行し、新潟空港からの事前予約制乗り合いタクシー新潟ウエストコーストライナー(NWC)は順調に申し込みがあり12月過ぎから予約をセーブしながら受付をいたしました。

又、観光庁の大きな補助金を頂き、インバウンド事業・ミュージックラリー・そば打ち/お餅作り体験・占いフェア「弥彦カナエール」・弥彦の食材を使った「弥彦テロワール・テーブル」など弥彦にとって初めての事業を行うことが出来ました。

最大の観光イベントである「弥彦菊まつり」におきましては、本年は JR新潟駅・JR燕三条駅・JR長岡駅・JR大宮駅・新潟空港・道の駅国上・いわむろやに菊花を展示させて頂きました。又、越後三大紅葉ライトアップスタンプラリーもデジタルスタンプを併用して開催いたしました。

観光サービスとして公園東屋で芸妓さんによる茶屋も好評で、期間を通じて来村者は46万人(昨年より2.8万人増)を数え、駐車場も(株)新宣に依頼し夜20:00まで管理することができ前年以上の利用がありました。ヤホール駐車場で行った「弥彦マルシェ 2023 秋」は なかなか天候に恵まれず、日光猿軍団、各店舗にとっては少し厳しい状況でしたがトータル的には前年以上の売り上げとなりました。

今年は弥彦競輪場で「寛仁親王杯」が開催されたこともあり10月中旬から11月の「弥彦菊まつり・弥彦公園もみじ谷の紅葉」に向け、多くのテレビ局・ラジオ・関東圏のメディアなどが「弥彦」を多く取り上げてくれました。

インバウンド事業としましては、燕・弥彦連携事業で8月29日～9月1日と令和6年2月19日～23日の2回台湾セールスコールを行いました。又、観光庁の補助を頂き11月24日～「台湾エージェント2名」、12月3日に県内在住の外国人9名のモニターツアーをそれぞれ開催しました。

村の取り組みで「電動バイク」のレンタル事業を始めることとなり準備を進める中で3月24日に「弥彦パンフェスタ2024」に合わせ電動バイクパーティを行いました。

おもてなし広場につきましては、オープンから 満6周年 を迎え、夏の酷暑などの影響があり若干の減少となりましたが、3月31日に「6周年感謝祭」を開催しました。今年度は独自のイベントの開催、各店舗と協力し新商品の開発などに取り組み集客に努めたいと思います。

以上、主な事業の取組みについて、ご報告いたします。

記

1. 誘客宣伝事業

- ・彌彦神社・弥彦公園もみじ谷・大イチョウのライトアップ
- ・菊花展覧会のPRに JR新潟駅・JR燕三条駅・JR長岡駅・JR弥彦駅・新潟空港・道の駅国上・いわむろや・JR大宮駅に菊花の展示、ポスターの掲示、四季のポスター・チラシを配布

2. JR 東日本との共催事業

- ・弥彦公園「もみじ谷観月橋ライトアップ」ポスターを掲示していただいた
- ・弥彦駅前広場にて「ミニ SL 弥彦号出発進行！」を開催、ヘッドマーク展示、子供制服貸し出しなど協力していただいた
- ・大宮駅・池袋駅・品川駅・秋葉原駅・船橋駅・東京駅 他「首都圏駅旅コンシェルジュ」にてデジタルサイネージなどで PR をしていただいた
- ・上野駅・仙台駅・大宮駅などの産直でパンフレット PR、「ジパング倶楽部」掲載
- ・弥彦駅にて菊まつり期間の「臨時列車」のお出迎えをした[ミコぴょん他]

3. 新潟県観光協会との取り組み

- ・首都圏・関西圏・名古屋での商談会

R5. 4月17日 名古屋 7月19日 埼玉 9月12日 首都圏 9月26日 関西圏

R6. 2月20日 関西圏 2月28日 29日、3月6日 首都圏 (Webにて)

4. 他市との連携事業

- ・燕市 — 台湾へのセールスコール、首都圏・関西圏での商談会に参加、観光タクシーを実施
- ・新潟市西蒲区 — 新潟空港・佐渡汽船との二次交通【NWC 新潟ウエストコーストライナー】を実施
- ・長岡市越路・柏崎市 — 越後三大紅葉スタンプラリーの実施

5. 弥彦観光ぼらんていあガイド

コロナによる行動制限がなくなり、燕市と共催で取り組んでおります「燕・弥彦を観光タクシーでめぐる旅」の「いいとこ巡りコース」「弥彦満喫コース」などはいずれも大きく増え、ガイド人も非常に頑張ってくださいました。

インバウンド事業では、県観光協会や燕・弥彦連携事業からの要請により、海外のメディア・インフルエンサーへのガイドに取り組みました。

年 度	組 数 (組)	総 数 (名)
令和 4 年度 (2022 年度)	114	593
	うちパワスポ 50	147
令和 5 年度 (2023 年度)	154	1217
	うちパワスポ 67	280

6. その他

- ・宣伝情報部会 ・まちづくり部会 ・お祭り部会 ・インバウンド部会 ・商品開発部会
- ・弥彦湯かけまつり他、通年行事
- ・弥彦菊まつり期間中 弥彦公園東屋での物品販売
- ・観光案内所のサービス業務

* 弥彦における秋の観光客等の動向について

※11月 弥彦公園・越路紅葉園・柏崎松雲山荘を巡るスタンプラリーの結果について

- ・ 来訪者（スタンプラリー参加者） 1668名（昨年2300名 632名減少）
- ・ 来訪元 関東地方-30%<10%>、中部地方-6%、その他 各1%
- ・ 県内 - 58%<75%>
（コロナから解放され、県外（関東エリア）からの来訪者が増えた
（県内比率 長岡市-34%、新潟市-16%、柏崎市-17%、三条市-5%、燕市-8%）
- ・ 年代 70代-23%、60代-25%、50代-16%、40代-9% [ほぼ昨年並]
- ・ 性別 女性 - 60% <58%> 男性 - 39% <42%>
- ・ 同行者 夫婦、カップル-42%、家族-33%、友人-14%、1人-9%<5%>
- ・ 交通手段 車 - 56%<76%> 観光バス - 42%<23%> 電車 - 3%<2%>
<コロナによる制限が完全になくなり関東からのツアー利用が大幅に増えた>
<交通手段もバスが増え、自家用車が減少した>

※11月 弥彦菊まつり及び周辺の観光客数調べ（11月1日～24日）

- ・ 彌彦神社菊まつり — 130,000人 <145,000人>
- ・ 弥彦山ロープウェイ — 44,674人 <31,120人>
- ・ さくらの湯 — 12,861人 <13,670人>
- ・ 美術館・公募展 — 487人 <464人>
- ・ 弥彦公園もみじ谷 — 272,232人 <292,068人>
- ・ 最多人員は11月9日(火) (昨年は12日(土))

***合計 — 460,576人** (令和4年 - 455,035人)

*土曜日・日曜日の天候に恵まれなかったため全体の人員は横ばいのように思われたが、夜のもみじ谷のライトアップを見に来られる人はむしろ増加しているように思われた。【夕方5:00以降の駐車場管理の人員確保も出来た】 マルシェ・露天商も天候によっては21:00頃まで若者を中心に家族連れや学生などで賑わった。ツアーバスはコロナから解放され関東方面をはじめ増加した。外国人来訪者は目に見えて増えてきており、弥彦駅から彌彦神社周辺までの「QRコード」などによる案内表示が必要であると感じた。【モニターツアーでも同じ意見が出ておりました】

曜日の分散・時間の分散などで「大渋滞」はほぼなかった。引き続き村と連携を取りながら、JR等の公共交通機関の利用を促すなど、又道路の渋滞、駐車場の混雑などを旅行者にスマホなどで確認できるように取り組んでいきたい。